

クワシロカイガラムシの 上手な防除法

クワシロカイガラムシは、茶樹に大きな被害を与える重要害虫です。本害虫は、防除適期がふ化最盛期前後の短期間に限られることや、寄生部位が茶株の枝幹であるため、散布薬液が到達しにくい点などから、難防除害虫となっています。



雄まゆの発生状況



クワシロカイガラムシの被害茶園

平成18年3月

宮崎県総合農業試験場 茶業支場
宮崎県病害虫防除・肥料検査センター
社団法人 宮崎県植物防疫協会

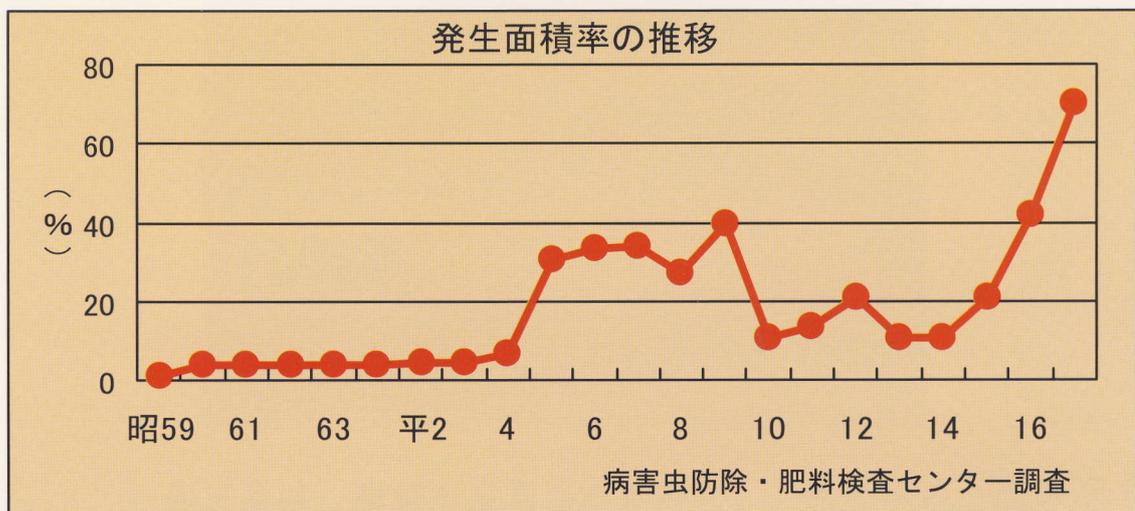
1. クワシロカイガラムシはどんな虫？

寄主植物：

チャだけでなく、クワ、ヤナギ類、クルミ、クリ、クズ、ブドウなど、非常に多くの植物に寄生します。



2. 宮崎県での発生状況は？

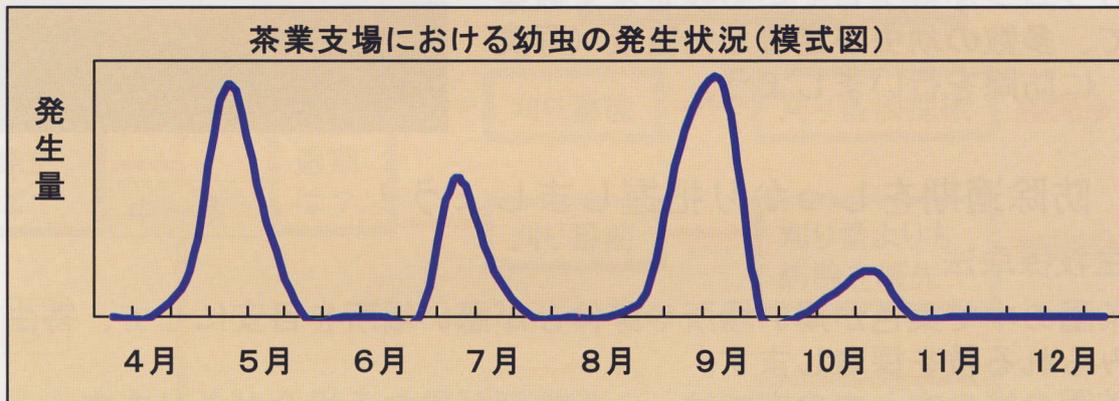


発生面積は年々増加中で、被害が拡大しています。

3. 宮崎県での年間の発生回数？

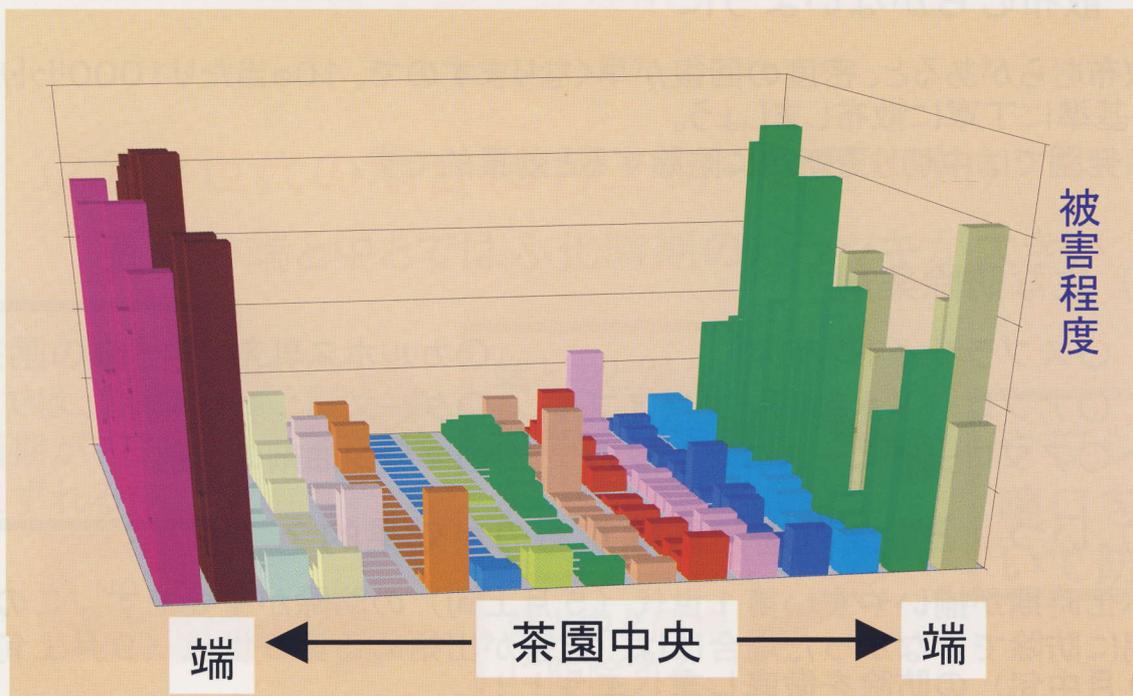
児湯・中部・南那珂：3～4回

西臼杵・東臼杵・北諸県・西諸県：3回



茶業支場(児湯郡 川南町)における防除適期は、概ね第1世代が5月上旬、第2世代が7月上旬、第3世代が9月上旬～中旬となります。年によっては、10月上旬～中旬に第4世代の発生もみられます。

4. 茶園で被害が多い場所はどこ？



一般的に、茶園の内側よりも周縁部の方が被害が多いので、特に周縁部を重点的に防除しましょう。その際は、茶園の内側よりも周縁部の方が防除適期が早いことが多いので注意しましょう！

5. うまく防除するには？

(1) 防除適期を守ることに！

- 防除適期はふ化最盛期です。クワシロカイガラムシが寄生している枝をよく観察して、多数の幼虫が定着した直後（写真右）に防除を行いましょう。



(2) 防除適期をしっかりと把握しましょう！

●寄生枝採取法

- ・茶園の中で葉色が薄い場所や芽伸びが悪い場所を目安にして、寄生がみられる枝を採取します。
- ・茶園の端の方と中の方では、ふ化時期が異なる場合があります。特に、日当たりの良い南側のうねや、農道（アスファルトなど）に面したうねでは、茶園の中の方と比べて極端にふ化時期が早くなることがあるので、両方の枝を採取して調査しましょう。
- ・採取した枝が防除適期に達していない場合には、外気温と差がないような室内に水差しして置き、毎日観察すれば大まかな防除適期が分かります。

(3) 散布むらがないように！

- 散布むらがあると、密度の回復が早くなりますので、10a当たり1000リットルを基準に丁寧に散布しましょう。
- 多発園では中切り更新後に防除すると効果的です。

(4) 主な防除薬剤

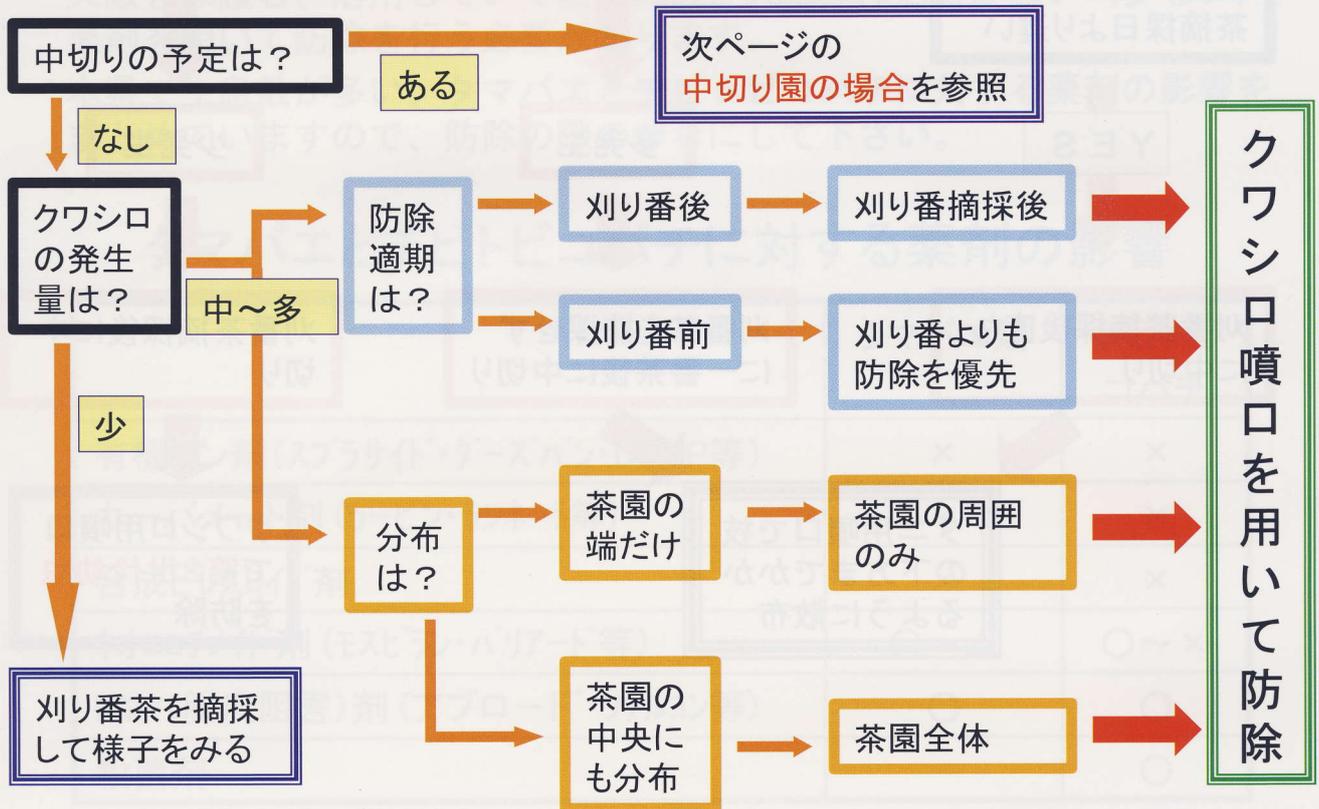
- | | |
|-----------------|------------|
| ○スプラサイド乳剤40 | ○カルホス乳剤 |
| ○アプロード水和剤・フロアブル | ○ダースバン乳剤40 |
| ○アプロードエースフロアブル | ○マシン油剤の一部 |

(5) いつ（どの世代を）防除するのが効果的？

- ふ化時期が揃いやすい第1世代（5月上旬）の防除が重要です。この時期に防除できなかった場合には、被害が出始める第3世代（9月上旬～9月中旬）の防除を徹底しましょう！！

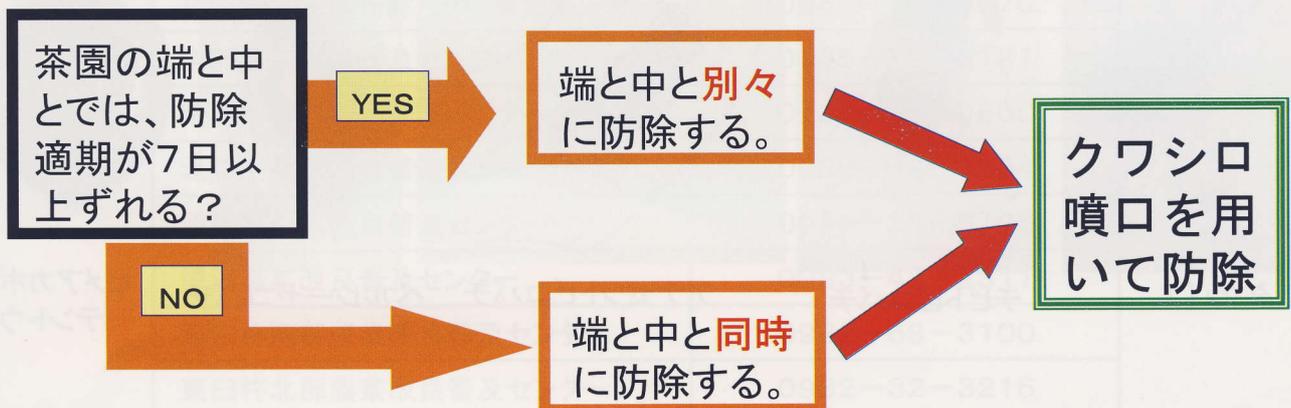
(5) - 1 一般園における防除手段の検索表

①第1世代の場合(5月上旬)

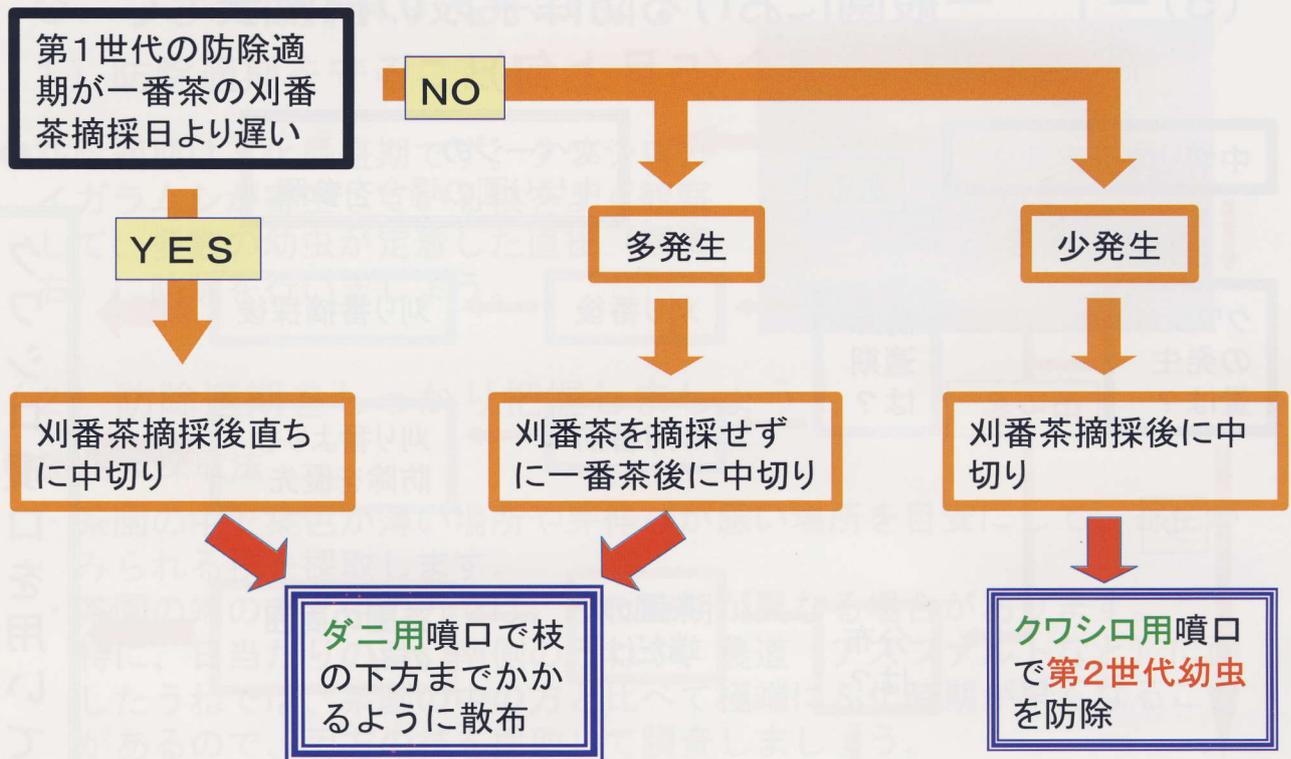


②第3世代の場合(9月上旬~9月中旬)

茶園の端と中とではふ化時期のバラツキが大きい



(5) - 2 中切り予定園における検索表



6. 天敵を保護してクワシロカイガラムシの密度を減らしましょう！

茶園で見られる天敵



タマバエ



チビトビコバチ



ナナセツトビコバチ



ベルレーゼコバチ



ヒメアカボシテントウ

茶園には、写真のように様々な天敵が生息していますが、これらの天敵のうち、本県の茶園で最も発生量が多いのはタマバエで、次いでチビトビコバチです。

他害虫の防除に使用されている殺虫剤の中には、茶園に生息する天敵を殺してしまうものがあります。

天敵を保護し、活用していくためには、天敵類に影響がない（少ない）薬剤を用いて防除を行う必要があります。

本県で生息数が多い、タマバエとチビトビコバチに対する薬剤の影響をまとめていますので、防除の際の参考にして下さい。

タマバエとチビトビコバチに対する薬剤の影響

	タマバエ類	チビトビコバチ
有機リン剤(スプラサイト・ダースバン・DDVP等)	×	×
カーバメート剤(ラービン・ランネート等)	×	×
合成ピレスロイド剤	×	×
ネオニコチノイド剤(モスピラン・バリアート等)	○～△	○～×
IGR(脱皮阻害)剤(アプロード・ファルコン等)	○	○
殺菌剤	—	○

○=ほとんど影響なし △=多少影響あり ×=影響が大きい

お問い合わせ先

機 関 名	電 話 番 号
宮崎県総合農業試験場 茶業支場	0983-27-0355
宮崎県病害虫防除・肥料検査センター	0985-73-6670
中部農業改良普及センター	0985-30-6121
南那珂農業改良普及センター	0987-21-9550
北諸県農業改良普及センター	0986-38-1554
西諸県農業改良普及センター	0984-23-5105
児湯農業改良普及センター	0983-43-2311
東臼杵南部農業改良普及センター	0982-68-3100
東臼杵北部農業改良普及センター	0982-32-3216
西臼杵農業改良普及センター	0982-72-2158